

第12回 メール機能で選ぶプロバイダー

▶ もう迷わない!

プロバイダー選び ここがチェックポイント!



インターネットのもっとも重要なアプリケーションは、やはり電子メールです。会社とプロバイダーと携帯電話、3つのメールアドレスを持っている人も、今ではそれほど珍しくはありません。今回は、こうしたメールアドレスの管理や携帯電話との連携など、メールの機能から見たプロバイダーの選び方を検討してみましょう。

▶ メールアドレスが複数使える AOL、Highway Internet、ZERO

メール機能はプロバイダーによって微妙に異なりますが(①)、ほとんどのプロバイダーでは、基本料金では1個のメールアドレスしか利用できません。メールアドレスを追加するには、月額100~300円程度の追加料金が必要となります。家族でインターネットを

利用する場合などでは、メールアドレスの個数や追加料金もプロバイダー選びの重要なポイントになります。また、メールを保存しておくメールボックスの容量も、メールを多く受け取る場合にはチェックしたい項目です。通常料金でメールアドレスが複数持てるプ

ロバイダーとして特におすすめなのはAOLで、追加料金なしで7個のメールアドレスが利用できます。AOLを利用するには専用ソフトのインストールが必要ですが、ウェブメールも用意されているので、メールの読み書きだけならソフトのインストールは必要ありません。

①おもなプロバイダーのメール機能

プロバイダー名	URL	POPアカウント			メールボックス			転送先	ウェブメール	外部からの送信	APOP対応
		個数	追加料金	最大	基本容量	拡張料金	最大				
@nifty	www.nifty.com	1個	月額200円/1個	6個	20MB	月額200円/5MB	無制限	2か所			
AOL	www.jp.aol.com	7個	-	-	約500通	-	-	×		×	×
ASAHIネット	www.asahi-net.or.jp	1個	月額200円/1個	無制限	無制限	-	-	1か所			×
AT&T WorldNet Service	www.att.ne.jp	1個	-	-	5MB	-	-	×	×		×
BIGLOBE	www.biglobe.ne.jp	1個	月額300円/1個	5個	20MB	-	-	1か所	1		×
DION	www.dion.ne.jp	1個	月額250円/1個	10個	3MB	月額50円/1MB	50MB	1か所	×	×	×
DreamNet	www.dream.com	1個	月額300円/1個	10個	20MB	-	-	1か所	2	×	×
DTI	www.dti.ad.jp	1個	月額300円/1個	無制限	30MB	-	-	1か所			
Highway Internet	www.highway.ne.jp	4個	-	-	100MB	-	-	10か所	×		×
IJ4U	www.ij4u.or.jp	1個	月額300円/1個	10個	無制限	-	-	2か所	×		
InfoSphere	www.sphere.ne.jp	1個	月額100円/1個	無制限	10MB	-	-	3			×
interQ	www.interq.ad.jp	1個	月額300円/1個	6個	5MB	-	-	1か所	×		×
JustNet	www.justnet.ne.jp	1個	月額250円/1個	5個	2MB	月額500円/2MB	20MB	5か所	×		×
KCOM	www.kcom.ne.jp	1個	月額200円/1個	無制限	2MB	月額50円/1MB	100MB	3か所	×		×
livedoor	www.livedoor.com	1個	-	-	10MB	-	-	×		×	×
OCN	www.ocn.ne.jp	1個	月額250円/1個	4個	5MB	-	-	1か所			
ODN	www.odn.ne.jp	1個	月額250円/1個	5個	5MB	月額250円/5MB	20MB	1か所	×	×	×
Panasonic Hi-HO	home.hi-ho.ne.jp	1個	月額400円/1個	4個	10MB	-	-	4か所	×		×
SANNET	www.sannet.ne.jp	1個	月額250円/1個	6個	20MB	-	-	2か所	×		×
So-net	www.so-net.ne.jp	1個	月額300円/1個	無制限	10MB	-	-	1か所	×		
U-netSURF	www.netsurf.ad.jp	1個	4	5個	無制限	-	-	5	×	×	×
WAKWAK	www.wakwak.com	1個	月額200円/1個	10個	10MB	-	-	1か所	×		
ZERO	www.zero.ad.jp	3個	-	-	7MB	月額200円/5MB	12MB	1か所	×		×
東京電話インターネット	www.dup.ttcn.ne.jp	1個	月額100円/1個	10個	2MB	月額100円/2MB	10MB	1か所	×	×	×
ぷらら	www.plala.or.jp	1個	月額200円/1個	無制限	5MB	-	-	5か所		×	×
リムネット	www.rim.or.jp	1個	月額400円/1個	5個	無制限	-	-	100か所	×		×

- 1 有料サービス(月額150円)を利用すれば5か所まで転送可能
- 2 NTTドコモの携帯電話・PHS・ポケベルのみに転送可能
- 3 転送先をカンマ区切りで255字以内
- 4 複数のIDが利用できる料金コースへの変更が必要
- 5 転送先でカンマ区切りで1000字以内

このほかには、Highway Internetが4個のメールアドレスを追加料金なしで利用できます。届いたメールを保存するメールボックスも100Mバイトと大容量なので、メールが大

量に届いた場合でも安心です。

また、ZEROが11月から開始した料金プラン「NEWバリュープラン」では、年額3,800円という低料金にもかかわらず、メー

ルアドレスが3個まで利用できます。

メールアドレスを複数必要とする場合には、こうしたプロバイダーを第一候補として考えるといいでしょう。

▶ 携帯電話との連携で便利な@nifty、BIGLOBE

メールの利用頻度が上がってくると、いつでもメールをチェックしなくなってきます。こうした場合には、プロバイダーにきたメールをiモードなどの携帯電話のメールアドレスに転送すれば、いつでもメールが確認できるようになります。前ページの表の「転送先」は、メールを何か所に転送できるかを表しています。ここが「x」のプロバイダーは、メールの転送機能が利用できません。

こうした転送機能を利用する場合には、サーバーにメールを残したままで転送する設定にしておけば、あとでパソコンからもメールが読めるので便利です。しかし、通常のメール転送では、携帯電話のメールには文字数の制限があるため、長いメールでは全文を読むことができません。また、転送されたメールに返事を書くと、携帯電話のアドレスになってしまいます。こうした問題に対処した、携帯

電話からのメール利用に特化したサービスとしては、@niftyの「モバイルメール」とBIGLOBEの「メール転送サービス・ミニ」があります。

@niftyの「モバイルメール」はiモードに対応したサービスで、利用には月額200円のオプション料金がかかります。モバイルメールを利用すると、@nifty宛てにメールが届くと着信通知のメールがiモードのメールアドレスに送られます。着信通知のメールには、元のメールの送信者と題名、メールを読むためのURLが書かれています。あとは、そのURLにアクセスすればメールが全文読めるだけでなく、@niftyのアドレスで返事を書くこともできます。

BIGLOBEの「メール転送サービス・ミニ」も携帯電話向けのメール着信通知サービスで、利用料金は月額150円です。メールの本文を

②@nifty「モバイルメール」

送られてくるメールの例

From: xxxx@nifty.com
To: xxxx@docomo.ne.jp
Date: Mon, 25 Dec 2000 17:36
Subject: 着信通知

F:xx@impress.co.jp
S:22時新宿集合
D:12/25 17:35

https://mobile.nifty.com/~

携帯電話には元のメールの送信者と題名だけを転送。メール本文はウェブ(iモード)で読む。

携帯電話から読む場合には「メール・ミニ」という別のサービスとなり、さらに月額150円が必要ですが、iモード、EZweb、J-Skyのいずれの携帯電話からでも利用できます。

▶ ウェブメールはlivedoorとぷらら、メールは無料のInfoSphere

旅行先などで便利なのが、ブラウザでメールを読み書きできるウェブメールです。ブラウザさえあればどこでもメールがチェックできるので、インターネットカフェのような場所からでもプロバイダー宛てのメールがチェックできます。

ウェブメールに対応したプロバイダーの中で、機能が豊富でおすすめるのはlivedoorとぷららです。どちらも添付ファイルや返信に対応しているだけでなく、通常のブラウザ以外にもiモードやEZwebといった携帯電話からでも利用できます。

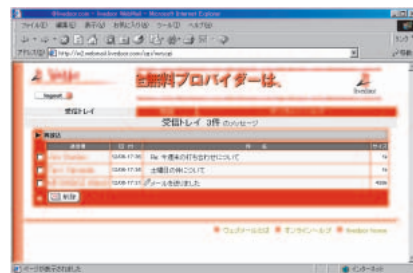
会社や学校などのLAN環境からプロバイダーのメールをチェックするには、利用しているメールソフトにプロバイダーのメールサーバーを指定して直接メールを受信する方法があります。ただし、ほとんどのプロバイダーでは、受信はできても送信には制限があります。前ページの表で「外部からの送信」の欄が「x」

のプロバイダーでは、プロバイダーにダイヤルアップしなければメールを送ることはできません。「x」のプロバイダーでも、一度受信してからでないと送信できない場合がほとんどです。

ただし、会社や学校などのLANでは、ファイアーウォールにより外部のメールサーバーにはアクセスできない設定になっていることもあります。こうした場合には、転送機能を使ってプロバイダーからメールを会社や学校のアドレスに転送するか、前述のウェブメールを使う方法が使えます。

このほかにも、メールの利用という点で特徴のあるプロバイダーとしてはInfoSphereが挙げられます。InfoSphereには通常のアクセスポイントとは別に、接続料無料のメール専用のアクセスポイントが用意されています。InfoSphereでもっとも基本料金が安いのは月額200円の「Lite プチコース」ですが、こ

のコースでもメール用のアクセスポイントは無制限で使い放題です。ただし、ウェブにアクセスする場合には、1分5円の接続料金がかかる通常のアクセスポイントに接続しなければなりません。アクセスポイントを使い分けるといった手間はかかりますが、とにかくメールだけをヘビーに利用したいという人には、InfoSphereはおすすめるプロバイダーです。



livedoorのウェブメールの利用画面。携帯電話からでもアクセスできる。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp